

建設常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第113号 平成27年度岩国市一般会計補正予算（第2号）

本議案のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第116号 平成27年度岩国市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第117号 平成27年度岩国市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

議案第118号 平成27年度岩国市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）

議案第122号 平成27年度岩国市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第123号 平成27年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）

議案第124号 平成27年度岩国市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第128号 岩国市空家等の適切な管理に関する条例

以上7議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第113号 平成27年度岩国市一般会計補正予算（第2号）のうち、当委員会所管分の審査におきまして、総務費の特定防衛施設周辺整備費の道路橋りょう施設整備事業費に関し、委員中から、「愛宕踏切は、幅員が狭く、歩道も整備されていないことから、非常に危険な箇所と認識している。時間帯によっては、多くの児童・生徒や通過車両等で、離合することも難しい場合もあることから、周辺に待避所を設けるなどの道路改良を早急に行うべきではないのか」との質疑があり、当局より、「踏切部分を含めた道路の整備計画を定めた上で、早急に着工できる手法がないか、今後検討してまいりたい」との答弁がありました。

続いて、土木費の道路橋りょう費の道路改良舗装費に関し、委員中から、「市内の道路において、地盤沈下によるものや、管の埋設工事等の補修箇所に段差が生じており、そこをトラック等の大型車両が通過した際、低音振動が発生するおそれがあるとのことで、沿線の住宅の壁などに、そのことが起因すると思われる亀裂が生じていると聞いているが、そういった事実を把握しているのか。またその場合の対策をどのように考えているのか」との質疑があり、当局より「大型車両等が不陸路面を通過した際に、振動等が生じているとの報告は受けているが、それにより家屋の壁面等に亀裂が生じたとの報告は受けていない。もし、そういったものがあれば、事実確認の後、因果関係の調査を行った上で、対応を検討してまいりたい」との答弁がありました。

本議案のうち、当委員会所管分につきましては、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、議案第122号 平成27年度岩国市水道事業会計補正予算（第1号）、議案第123号 平成27年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）、以上2議案の審査におきまして、水道事業会計の耐震管整備事業費の工事請負費に関し、委員中から、耐震管整備事業の進捗についての質疑があり、当局より、「耐震管整備事業に

については、毎年5キロ程度の布設がえを行っており、平成25年度は約5.5キロ、平成26年度は約5キロの整備を行っている」との答弁がありました。これを受けて委員中から、「水道管の総延長からすると、耐震管整備の進捗は十分ではないと考えるが、その要因は何か」との質疑があり、当局より、「耐震管整備については、水道施設耐震化10カ年計画に基づいて、年間4億円程度で事業を実施している。進捗が思わしくない理由は、国・県などの道路管理者との協議に時間を要することや、現場での交通規制等により思うように進んでいない」との答弁がありました。

これを受けて委員中から、「水道施設はライフラインそのものであり、その中でも耐震管の整備事業は非常に重要なものとする。道路管理者に対しても、その必要性を訴えて理解していただくとともに、整備計画も見直しを図り、事業をより進めていくことを求める」との意見がありました。

以上2議案は、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、議案第128号 岩国市空家等の適切な管理に関する条例の審査におきまして、委員中から、「条例に規定されている緊急安全代行措置については、市民等の生命、身体または財産を保護するために、空家等の所有者等の同意を得て、措置を講ずることができる」とされているが、所有者等がない、あるいは見つからない場合には、どういった措置がとられるのか」との質疑があり、当局より、「登記簿や住民票を調査しても、なお所有者を確知できない場合は、空家等対策協議会にお諮りした上で、事前の公告の後、市の経費において、略式代執行を行うことができる」との答弁がありました。

本議案は、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。以上で、建設常任委員会の審査報告を終わります。